

第12号

# 熱田高同窓会報

発行  
愛知県立熱田高等学校  
同窓会事務局  
TEL(052)-652-5858



同窓会ホームページ  
URL:<http://www.atsuta.gr.jp/>

熱田高校ホームページ  
URL:<http://www.atsuta-h.aichi-c.ed.jp/>

## 新たな目標に向けて

同窓会会長 佐々木 元彦

会員の皆様方におかれましては、益々ご健勝にお過ごしのこととお喜び申し上げます。

新年度、悲喜こもも別れと出会いの人事異動の時節でもあります。

熱田高校では、十五代校長石黒茂先生が、御退官になりました。

石黒校長におかれましては、創立六十周年事業を取りまとめいただき、熱田高校の中興のために日々ご尽力いただきましたことに、同窓会幹部一同感謝申し上げます。

ありがとうございます。

四月一日、第十六代校長として小林整次先生がご着任されました。小林校長におかれましては、新風を注いでいただき、僭越ではありますが、生々発展のご尽力を賜りたくお願い申し上げます。ご指導ご鞭撻いただきますようお願いいたします。

本会は、『同窓会報十号』から経費節約を図るため、ホームページを利用しての会報の発刊を暫く継続することとしております。この度も、担当者のご尽力で『会報十二号』を発行する運びとなりました。

ホームページの閲覧数も十一万五千回を数えておりますが、まだまだご存じない会員の方もおみえのようですから、ご存じない会員の皆様方へお伝え頂ければ幸甚です。皆様方とは会報を通じ、共通の理解を深め情報を得るべく、より多くの情報をお寄せいただければ誠に喜ばしいことでもあります。どうぞ、事務局あてに掲載資料やご意見等を文書でお寄せいただきたくお願い申し上げます。

平成二十五年度は、学校のご要望

にお応えし、老朽化した体育館・武道場の床面塗装にあたりました。教育活動の場としておいに利用されていると聞いており、文武両道一層の活躍を望みます。

さて、新たな目標として、県内最初の公立高の人工芝設置校として、運動場の人工芝化の実現に向け尽力してまいります。

これは、運動場近隣の防塵被害の防止・雨天時の汚泥防止や運動時の安全対策・地域の学校開放・超高齢化する大人と子供等との共有の場の提供、高校サッカー競技の拠点会場の確保など、人工芝化による地域や公的な面での利益は多大なものがあります。

役員会の席、ご提案した「運動場人工芝化整備準備委員会会則」(案)のご賛同も得られ、また『他の先進国にあつては、公立校の芝化は当たり前のこと』との暖かい応援発言もありました。役員一同、実現に向け良い知恵を出し汗をかき、時間と経費がかかりますが二万五千名の会員の一致協力のもと、熱田高校創立六十五周年記念日には、実現させましょう。おわりに、同窓会員の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。挨拶といたします。

平成二十六年五月吉日

熱田高校のさらなる発展を

第16代校長

小林 整次



赴任しました。

本年度、創立六十二年目を迎える熱田高校に

四月四日、着任式に続く離任式では、石黒茂前校長先生をはじめ離任された教職員が、熱田高校に寄せる熱い思いを生徒に語りかける姿に心打たれました。式の最後には、生徒・職員が校歌を斉唱して締めくくりませす。詞と曲の豊かな響きに、脈々と歌い継いできた本校の伝統に触れることができた喜びを感じました。

四月七日、第六十二回入学式では、新入生と保護者に向けた式辞の中で、教育目標と校章の由来を伝え、続いて校庭の大楠が熱高生と同窓生の心の拠り所であると紹介しました。

人生の扉を自ら開こうとする高校生にとって、彼らを支えるのは保護者や教職員であることはいままでありません。しかし、彼らが自立し社会の有意な形成者として成長するためには、自己が所属する集団の伝統や品格、それへの誇りや自信といった精神的な支柱となるものが不可欠です。そうした意味で、将来本校同窓会の一員に連なる現在の熱田高校生は、同窓会を築いてこられた

諸先輩方に深い感謝と敬意を払わなくてはならないと思います。

赴任早々ではありますが、二年前の創立六十周年を契機として、学校に活力が漲り始めているのを感じます。周年記念事業をとおして注がれた同窓会の皆様方の情熱やエネルギーが、本校に新たな活力をもたらしています。心から感謝申し上げます。

部活動では、サッカー部が県の一部リーグで活躍し、青木宏憲監督の指導のもと古豪復活を目指して頑張っております。応援よろしくお願いたします。今年度のインターハイ予選では、サッカー部、柔道部個人が県大会ベスト8の好成績を収め、バスケットボール部男女、陸上競技部、卓球部、柔道部団体が県大会出場を果たしました。文化部では、物理部が科学技術振興機構の科学部活動振興プログラムの活動を継続して全国レベルの実績を上げ、吹奏楽部は各種コンクール以外にも対外的な活動を積極的に展開しています。

さらに、大学進学に対応する教育課程や補習授業、模擬試験への取組が徐々に成果を上げており、国公立大学合格者も増加傾向にあります。上昇気流に乗りつつある熱田高校のさらなる発展を期するとともに、同窓会の皆様方には、これからも本校の教育活動をしつかりと支えてい

だきますことを心からお願ひ申し上げます。

熱高での三年間に感謝

前校長 石黒 茂



開となった本年三月三十一日を

もって、熱田高校に別れを告げることになりました。この三年間、同窓会の皆様から六十周年記念事業をはじめとし熱田高校に対し大変多くのご支援やご助力をいただき、本当にありがたく思っています。佐々木元彦会長をはじめとする同窓会員の皆様に、先ずもって感謝の意を表させていただきます。

さて、思い返せば、三年前、熱田高校に勤務することが決まったとき、自宅から一番近い学校に、喜びとともに大きな戸惑いを感じました。三十五年に及ぶ教員生活のほとんどを名古屋地区で過ごしながら、熱田高校とはまったくと言っていいほど無縁であったからです。唯一関係があるとすれば、妻が二十回生であるということぐらいでした。学校の状況や生徒の状況がよくわからず、熱田高校での生活は心細い状況の中でのスタートでした。

しかし、始業式で見た生徒は、整

然と整列し、凜としており、その姿に期待を感じることができました。

その後の球技大会、熱高祭、修学旅行などの学校行事で見せてくれた生徒の持つ溢れ出るようなエネルギー、深刺とした姿。生徒への期待感ほどん膨らんでいきました。

部活動でも、二年前サッカー部が県大会で準決勝に進出し、女子バスケットボール部が今春の県新人体育大会でベスト四に輝きました。他の部活も柔道部・陸上部・テニス部などが県大会に出場し、その活躍の姿を見るにつけ、私自身大きな感激を味わい、力をもらうことができました。日々の活動の中でも、生徒が大きく変わっていく姿、大きな力を発揮するその瞬間を見ることができたのも、熱田高校に勤めることができたからこそその賜物だと思えます。

そして、学校評議員で同窓会事務局長の万前秀男様をはじめ同窓会の方々は陰となり日向となつて、頼りない私を支え、熱田高校を盛り上げてくださいました。校長として幸せを感じる三年間でした。

私は、退職後、リハビリの専門職を養成する清須市の愛知医療学院短期大学で、生物の教授として学生を指導していますが、今後は前校長として、近隣住民として、また熱きサポーターとして、熱田高校を応援し、



同窓会役員

- 会長 佐々木元彦 (1回卒)
- 副会長 波田 忠 (1回卒)  
中野 道孝 (2回卒)  
岩淵 正憲 (3回卒)  
豊田 和弘 (4回卒)  
西田 和子 (5回卒)  
万前 秀男 (6回卒)  
小林 勝治 (7回卒)  
井上 亜夫 (8回卒)  
武藤 史子 (9回卒)
- 中村日出夫 (11回卒)  
真木 伸一 (13回卒)  
福島 義広 (14回卒)  
石田 直城 (15回卒)  
伊藤 武博 (16回卒)  
柿崎 賢一 (17回卒)  
山口 直彦 (18回卒)  
木村 隆秀 (19回卒)  
佐々木 博 (21回卒)  
奥田 隆庸 (25回卒)  
近藤 かをり (26回卒)  
梅村 敬史 (28回卒)  
樫山 泰久 (36回卒)  
安中 富一 (定1回卒)
- 書記 宮田 忠男 (10回卒)  
○谷澤 伸 (11回卒)  
小倉美津夫 (16回卒)  
森 久勝 (定1回卒)
- 会計 江村 雅夫 (4回卒)  
○後藤 文方 (定2回卒)
- 監査 神谷 和雄 (15回卒)  
恒川 良三 (19回卒)
- 学校幹事 青木 宏憲 (23回卒)  
杉藤 充彦 (20回卒)  
鈴木矢代子 (21回卒)  
川辺 浩 (23回卒)  
野村 弘昭 (42回卒)  
愛知 輝樹 (定46回卒)

学校幹事=卒業生の熱田高校勤務者  
代表幹事 青木宏憲先生  
○印=新役員



小林新校長 着任挨拶



石黒前校長 離任挨拶

見守っていただくつもりです。同窓会の皆様方には、これからも本校の教育活動と新しい校長を、しっかりと支えていただきますようお願い申し上げます。

平成25年度

愛知県立熱田高等学校同窓会会計収支決算報告

(平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで)

収入の部		円
前年度繰越金		4,306,825
入会金 全日制 59回生 314名×@6,000円		1,884,000
"          定時制 46回生 21名×@6,000円		126,000
普通預金 利息 2件 (8月分・2月分)		386
合 計		6,317,211 一a
支出の部		
会員データ 管理費 2件		61,740
寄贈 体育館・武道場床面等補修一式		2,726,325
" 全日制59回・定時制46回 ミニ会員名簿		105,840
" 卒業証書入 全日・定時ホルダー		147,000
助成金 定時制通信制教育振興会費 5口×@2000		10,000
" 同期会 (6・14・17・24回) 部活動OB会 (吹奏楽部)		164,050
会議費 2件 (役員会・幹事会)		120,451
会報 1 1号製作費 一式		133,641
慶弔費 4件 (故人 近藤慶・内藤明広・赤松英男・岡嶋憲治)		115,200
通信費 8件		31,920
事務用品 4件		8,741
諸印刷費 4件		18,230
雑費 8件 (謝礼7件・図書券3件・人工芝視察等)		70,350
		3,713,488 一b
次年度繰越金 (名古屋銀行六番町支店普通預金残高 a-b)		2,603,723
積立金として (千年郵便局定期預金: 利息未計上)		5,000,000

平成26年3月25日、上記のとおり会計報告をします。 会計代表 江村雅夫  
執行担当者 万前秀男 青木宏憲  
平成25年度会計における証拠書類並びに会計帳簿を精査したところ、正確に処理されていることを認めます。  
平成26年3月30日 監査代表 神谷和雄



佐々木会長挨拶

- 平成26年度 第1回 役員会議事録 (出席者27名)  
○歓迎迎式 前石黒茂校長、着任小林整次校長・佐藤章教頭  
1号議案 会計収支決算報告・監査結果 (審議)  
2号議案 役員一覧・卒業生数一覧 (審議・報告)  
3号議案 運動場人工芝化準備委員会の会則 (審議)  
その他 会報12号の進捗状況に関して

# がんばれ熱高生

今年度の人事異動で日進高校長にご栄進された木村誠教頭（在職三年）に投稿をお願いできました。また、ご退職になられた本校卒業生（十七回）の鈴木茂明先生（在職三年）にも心の内を語ってもらいました。

## 若人の命なり

前教頭 木村 誠



三年前、私が熱田高校に赴任する直前の三月に東北地方で大きな地震が発生

しました。そして、地震に伴う津波により多くの人命が犠牲になりました。翌月に行われた着任式の挨拶のなかで、命の尊さについて話をしたことを思い出します。震災後に、多くの人々が地震や津波の被災者の方々に対して、今自分にできることは何かを考え、節電を心掛けたり募金等の支援活動を行ったりしました。もちろん、このような活動も大切なことではありますが、同時に熱高生のみなさんをお願いしたのは、多くの命が突然失われるという大惨事に見舞われた同じ日本に暮らす者として、

命の尊さについてこの機会にじっくりと考えてみてほしいということでした。

私が熱田高校に勤務したのはわずか三年でしたが、残念なことに熱田高校の生徒や保護者の方の訃報に接することがありました。昨年度には、現職の先生がお二人もお亡くなりになるといふ悲しい出来事に直面しました。謹んでご冥福をお祈りしたいと思います。このような辛い経験から、この四月の離任式でも「自分の命を大切にし、いかにその命を輝かせていくかということを真剣に考えてほしい。」と熱高生のみなさんに話をしました。人の命には限りがあります。だからこそ、目の前にある課題から逃げることを無く、よりよく生きていくための力を身につける努力を続け、社会の一員として責任のある生き方をしていくことこそが命を大切にすることであると思います。

校歌の最後に「若人の命なり」とありますが、熱高生のみなさんには、常に懸命に生きることで命を輝かせながら立派な大人として社会に役立つ人材になってほしいと心から願っています。

熱高生は心優しい良い生徒ばかりです。特にすばらしい点は、人の話に耳を傾け、素直に受け入れる姿勢を持っていることだと思います。そして熱田高校の先生は、情熱と実力のあるすばらしい方々がそろっています。

今春の進路状況をみると、現役の国立公立大学合格者が二十五名（全体では三十四名）となり、久しぶりに二十名を超えました。数年前は一桁になってしまった時期もあったようですが、このことは本校における近年の取組が、徐々に成果を挙げてきた証と考えていいと思います。部活動においても、一昨年度にサッカー部が、昨年度には女子バスケットボール部が県大会でベスト四に入り、県立高校としては偉業といえるべき見事な成績を次々に収めてくれました。短い期間でしたが、文武両道、古豪熱田高校復活の兆しのみえる時期に勤務させていただいたことを誇りに思っています。大変お世話になりました。熱田高校がますます発展し、熱高生が今

後も成長をつづけ、社会のなかで大いに活躍してくれることを期待しています。

## 旅の景色

教諭 鈴木茂明（数学科）



私の趣味は、囲碁と旅行です。囲碁は、楽しいゲームです。山ガールならぬ囲碁

ガールとして女生徒に、一生の趣味として、入部してもらいたいと考えます。

旅行については、北欧のフィヨルドのクルーズを含めるヨーロッパ諸国・南米、アフリカ、アメリカの国立公園など、数十カ国を旅行しました。どの旅行でも思い出があります。あまり御存知ないと思われるスーダンについて、思いをよせたいと考えます。

スーダンは、紀元前一三五〇年に誕生しました。エジプトのファラオが、ヌビアを征服し寺院やモニュメント地域の文化を残しました。このヌビア砂漠の美しさは、忘れることができませぬ。黄金の美しさです。何度もスタックつまり砂に埋もれてなかなかジープが発進できませんでしたが、それも楽しい思い出の一つです。

スーダンの首都ハルツームは、北

にあるナガとメロエと共に発展しました。ナガは、典型的なサハラ風景で砂と岩で成りたっており、ライオンの頭・神・ファラオ・貴族の儀式面などの素晴らしいレリーフの装飾がみられます。メロエの王族の埋葬は、ナイル川から3km離れた所にあります、この青ナイルと白ナイルの合流点も美しいものです。メロエにもどりますが、いくつかのピラミッドが広大な砂漠地にそびえ立ち、各地に王様の生活や神への忠誠心のレリーフが描かれた壁画や、礼拝堂が見られます。夕日に映えるメロエ砂漠のピラミッド群は、美しかったです。元旦のヌビア砂漠にあるジャベル(山)バルカルから、スーダンイーグルを見ながらのナイル川に浮かぶ日の出は、今でも忘れられません。南アフリカやアイスランドの美しさについて話したいと思いますが、私のくだらない文筆では、この程度だと思えます。アイスランドについては、パフィンの肉がおいしく、南アフリカでもさまざまな動物の美しさに感動しました。自然で見る動物は美しかったです。ブルートレインの旅は楽しいものです。今度は、ロボスロイルに乗って旅行がしたいと考えています。



◎過去3年間の卒業生の進路別実数(現役生のみ)

年度	4年制大		大学校	短期大学	専門学校	就職		家事従事	その他	浪人	合計
	国立	私立				公務員	民間				
平成25年度	20	215	0	12	37	2	1	0	3	24	314
平成24年度	15	224	0	19	46	2	3	0	6	34	349
平成23年度	11	233	0	20	44	3	0	0	2	35	348

◎過去3年間の進学率と地元主要私立大学の合格者数(延べ数)

年度	大学(%)	専門(%)	南山	愛知	名城	中京	愛知学院	愛知工業	中部	愛知淑徳	金城学院	相山	国公立	浪人
25	79	12	33	40	46	41	47	13	28	45	13	30	25	24
24	74	13	5	40	43	26	61	14	33	38	13	11	16	34
23	76	13	18	55	71	35	48	16	18	50	9	13	12	35

◎過去3年間の国公立大学合格者数

平成25年度			24年度			23年度		
現役生	25	浪人生	9	現役生	16	現役生	12	
愛知教育	2	名古屋工業	3	名古屋工業大	1	名古屋	1	
豊橋技術科学	1	岐阜	1	岐阜	2	名古屋工業大	1	
岐阜	1	三重	1	三重	2	愛知教育	3	
三重	4	鳥取	1	富山	1	岐阜	1	
富山	1	名古屋市立	1	鳥取	1	北見工業	1	
金沢	1	愛知県立	1	琉球	1	茨城	1	
福井	1	青森公立	1	愛知県立大	4	滋賀	1	
室蘭工業	1			富山県立	3	鳥取	1	
宇都宮	1			広島市立	1	高知	1	
鳥取	1			浪人生	5	愛知県立	1	
愛媛	1			名古屋工業大	1	浪人生	4	
琉球	1			愛知教育	1	東京工業	1	
愛知県立	3			三重	1	愛知県立	1	
静岡県立	1			大分	1	高崎経済	1	
静岡文化芸術	1			静岡文化芸術	1	大阪府立	1	
富山県立	1							
会津	1							
都留文科	1							
山梨県立	1							

平成二十三年入学式の様子  
平成二十六年三月卒業  
(全日制第五十九回生)



進路指導部の当面する課題

進路指導部 都筑 秀夫

熱田高校は部活動と学校行事が活発です。この伝統は今でもしっかりと受け継がれており喜ばしい限りですが、学習・進路の面においてはどうかでしょうか。先輩方が在籍していた頃と比べて、学習時間は少なくなっているのではないのでしょうか。三年生の後半にならないと進路決定の本格的な行動に移せない、進路意識の希薄な生徒も近年増加しているように思われます。低学年のうちか

ら進路意識の高揚を図るために、昨年度から第二学年からの理系・文系の類型選択を導入しました。近年、大学入試の制度はめまぐるしく変化し、0A入試・推薦入試の拡大や一般学力入試の多様化・複雑化など我々教員でも把握しきれないようになっております。大学入試の結果予測も読みにくく合否判定がなかなか難しい状況になっています。それゆえ、生徒の進路選択もとにかく早く決めてしまいたいという気持ちが強くなり、国公立大学を目指すだけの学力をもちながら私立大学の

0A入試や推薦入試に流れてしまう生徒も増加してきているようです。低学年のうちから進路意識を高め学習習慣を確立させること、入試の状況を的確に分析して合否予測をたて生徒が少しでも高い目標に向けて最後まで頑張る体制を確立することが熱田高校の進路指導の当面する課題となっております。資料として『過去3年間の卒業生の進路別実数』『過去3年間の進学率と地元主要私立大学の合格者数』『過去3年間の国公立大学合格者数』を載せておきます。



生徒会活動の近況報告

特別活動推進部主任

山本 亜由美

部活動の活躍について

現在、部活動は十七の文化部（同好会含）、十の運動部があり、放課後を中心に活動を行っています。

文化部では、吹奏楽部が三月二十四日に第五十二回定期演奏会をウイル愛知にて行いました。二百人近くの来場者を迎え、日頃の練習の成果を発表することができました。また、三月九日には、協立総合病院にある老人ホームで演奏を披露する機会も頂きました。ESS部は、今年から名古屋学院大学の留学生との交流を始め、より実践的な取り組みを行っています。他にも、物理部は熱田児童館や熱田区の小学校で実験教室を開き、地域と連携した活動を継続的



女子バスケットボール部県新人大会



ESS部 名古屋学院大学留学生との交流



サッカー部県高校総体3回戦

に行っています。また、「ホルミシス効果」等について研究を続け、核融合科学研究所や高文連が主催する研究発表会において、賞を頂きました。運動部では、愛知県新人体育大会において、サッカー部、男子バスケットボール部、柔道部、陸上部、卓球部が県大会に出場し活躍しました。また、女子バスケットボール部は、同大会で上位四校による決勝リーグに進出し、県ベスト4という輝かしい成績を収めました。サッカー部は、十二月にリーグ戦において、一部リーグにも復帰しました。

生徒会活動について

十月二十五日には、執行部の生徒が港養護学校を訪問し、観察園において栽培学習や風船バレーなどのレクリエーション活動を養護学校の生徒

と共にを行いました。また、その後行われた港養護学校祭に自主的に参加した生徒もおり、さらに交流を深めることもできました。また、十一月半ばには、生徒会の総務委員が中心となって募金活動を行い、集まったお金をユニセフに寄付しました。他にも、生徒会執行部は熱田警察署を訪問し、警察署の方々と一緒に自転車マナーの啓発運動に参加しました。今後も生徒が主体となって、地域と連携した取り組みをさらに行っていきたいと考えています。

女子バスケットボール部

歴代初の県ベスト4進出

部長 平野 栞(三年三組)

私たち女子バスケットボール部は、三年生9人、二年生6人、一年生5人の合計20名で活動しています。西田先生・平山先生・神谷先生・卒業生で外部コーチの祝井先輩の指導のもと、毎日練習に励んでいます。

昨年一月に行われた、愛知県高等学校新人体育大会では、初のベスト4に進出することができました。ベスト4を決める中部第一高校との試合では、前半、相手のリードから始まりましたが、三本連続の三ポイントシュートで追いつき、接戦の末83対82という一点差でベスト4を掴むことができました。試合が終わった

た直後、歓喜と涙で感動を分かち合いました。

ベスト4の決勝リーグでは、全国一位の桜花学園、全国ベスト4の安城学園、高い能力を持つ名経大高蔵と戦いました。それまでの相手と違



平成25年度 愛知県高等学校新人体育大会 ハスケットボール競技 愛知県大会 第4位 熱田高等学校

前列右から5番目(背番号4)部長 平野 栞

い、県大会上位常連である三校との試合では、なかなか自分たちのプレーが出せず、勝つことができませんでした。この悔しい気持ちを力にかえ、次の大会に臨みたいと思います。今大会で、本当にたくさんの方から応援をして頂きました。感謝の

気持ちに常に持ち、これからもチーム一丸となって努力していこうと思えます。

平成26年度 県高校総体の結果

【サッカー】

二回戦 熱田2―1菊里  
三回戦 熱田2―1愛知朝鮮  
準々決勝 熱田0―5中京大中京

【陸上】

七位 砲丸投げ 水谷友治 12 m 98  
砲丸投げ 石田悠人 11 m 02  
やり投げ 水谷友治 47 m 50

【柔道】

男子団体 一回戦 熱田3―2半田  
二回戦 熱田1―4滝  
女子個人 須田ももこ 一回戦敗退

【バスケットボール】

男子  
一回戦 熱田96―70刈谷工業  
二回戦 熱田48―152中部大第一  
女子  
一回戦 熱田83―53至学館  
二回戦 熱田43―76星城

【硬式テニス女子】

春田英里香7―9岩倉総合

【卓球ダブルス男子】

今吉湧水・田中勝巳  
一回戦 熱田1―3愛産大三河

岡嶋憲治先生を偲んで

教諭 石井 光(地歴科)



「この週末は北海道に行ってきます」と、普段は自分のことについてほとんど語らない岡嶋

先生が、珍しく嬉しそうにおっしゃっていました。まさかそれが先生との最後の会話になるとは…。翌日の朝、岡嶋先生が交通事故に遭われたので、病院に駆けつけてほしい」と教頭から連絡がありました。慌てて名市大病院に到着、案内係に尋ねて、たどり着いた場所は救急外来の家族控室でした。まだ家族ですら状況がわからない中で、一緒に控室で待たせていただきました。その間、岡嶋先生の娘さんは涙を流し続け、警察が何度も控室に入りにして家族に質問をする様子から、ただごとではないということが確かでした。やがて、看護師さんが家族の方のみを集中治療室に呼び入れました。「同僚の方はご遠慮ください」という言葉がすべてを物語っていました。岡嶋先生は意識不明の重体。その約一週間後に、意識が戻らぬまま帰らぬ人となってしまったのです。

「惜しまれる人ほど早く逝く」とよく言われますが、まさにその通りです。岡嶋先生は、これまでに出会った教員の中で最も尊敬できる人物の一人でした。一見、気むずかしそうに見えますが、非常に責任感が強く、礼儀正しくて、他人にはとても優しく、常に弱い者の立場でものを考えてくださいました。定年を迎える年となつてなお、「若い教員のために」と職員会議などでは、常に真っ先に発言なさっていました。この二年間、社会科学準備室で向かい合わせの席に座つていながら、お互いに無口なため、普段はほとんど会話はありません。しかし、職員会議でそれぞれが発言して、「この人は自分と同じ考え方なのだ」と再認識する機会が何十回とありました。これまでの教職経験は全く違えども、その考え方は自分に最も近いものでした。きちんと会議の場で議論をして、合意形成をすることが大切。生徒は大人として扱い、尊重してあげるべき。受験産業の功利主義に流されてはいけない。新設校方式は決して教育ではなく、教員の自己満足に過ぎない。「自分が若い時代には、年配の先生の発言を聞いて学んだ。だから今度のは、熱田高校の若い先生たちを育てるためにも、自分が先頭に立たなければいけない。」そうおっしゃっていた岡嶋先生の考え方は、まさに教師の原点であると思います。先生は日

本史が専門であるにもかかわらず、担当希望者がいない現代社会・地理・政治経済の授業を進んで担当してくださっていました。先生の授業を受けた卒業生たちは、「岡嶋先生の授業はおもしろくて役に立った」と、先生との急な別れを惜しんでいます。毎日、本や新聞はもちろん、英字新聞や学術書まで読んで勉強し、新しいことに挑戦し続ける先生の姿勢は、まさに教師の理想像でした。先生の遺志は、確実に生徒たちや後続の教員の心に響いていますよ。少しでも早い定年退職になってしまいました。が、これまで本当にご苦労さまでした。岡嶋先生、ゆつくりとお休みなさい。(合掌)

定時制課程の今

教頭 伊藤 太佳彦



現在、定時制高校には「働きながら学ぶ場」というだけでなく、「学び直しの場」や「再チャレンジの場」としての期待が大きくなってきています。本校でも現在は正社員として働く生徒はおらず、中学校時代に不登校傾向にあった生徒や、他の高校を中退して定時制に入学してきた生徒が大半を占めている



状況です。また、外国籍の生徒も年々増えていきます。

こうした状況の中、生徒たちはいろいろな問題を抱えながらも頑張って学校生活を送っています。そうした様子がよくわかるのが、毎年六月にホームルームの時間などを利用して書いてもらう生活体験作文で、生徒たちが様々な問題や苦労を抱えながらも、前向きに頑張っている様子が伝わってきます。

昨年の十月六日に江南市民文化会館で開催された第五十三回愛知県定時制通信制生徒生活体験発表大会では、本校の代表として森川秀人君が「四年間ダイアリー」という題で発表しました。彼は定時制に入学したものの、最初は学校生活になじめず、次第に学校をさぼることが多くなつたそうです。一方で、出席日数が足りなくなつて前の学校を中退していたこともあって、このまま同じことを繰り返すのではないかと不安を抱えていました。そんな彼が再び学校へ行くようになったきっかけは、心配してくれた友達や先生たちの存在でした。「今の学校に入学できたことや友達・先生方に出会えたことは、自分にとってかけがえのない宝物です」という彼の言葉からは、苦しいときに支えてくれたまわりへの感謝の気持ちと、あきらめずに頑

張つて良かったという思いが感じられました。

卒業生を送る会では、卒業を間近に控えた生徒一人ひとりが「卒業生のことば」としてその思いを語ってくれます。昨年度の卒業生を送る会でも、森川君だけでなく多くの生徒が、「友達や先生に支えられたから頑張れた」「途中であきらめずに頑張つてよかった」と言っていました。また、昨年度実施したアンケートでも、「熱田高校定時制に入学して良かったと思う」という質問に対して、九割近くの生徒が「そう思う」「ややそう思う」と答えていました。

これからも、多くの生徒が「熱田高校定時制に入学して良かったと思う」「熱田高校定時制で頑張つて良かった」と答えてくれるような学校でありたいと思っています。



卒業生を送る会



生活体験発表会  
森川秀人君

### 定時制同窓会総会にむけて (校歌を歌おう！)

一回生 森久勝

定時制卒業生の皆様、益々ご清栄の事とお喜び申し上げます。

熱田高校同窓会は昨年創立六十年記念を終え六十五周年へと歩み始めました。私達、定時制卒業生も今年で卒業生が四十六回生を数えます。数年前より定時制独自の同窓会を開けないかとの機運が高まり、昨年九月より世話人会を発足させました。本年六月で会合を四回開催しました。これから年末まで卒業生の住所を確認し、平成二十七年早春に皆様方にご案内をさせていただきます。この会を成功させ、長年一回生が務めてきました同窓会の役員を、後輩に引継いで頂きたいと考えています。ところで副題の(校歌を歌おう！)ですが、私が卒業生に同窓会の説明を行うようになり、自分の娘よりも二十歳も若い卒業生に何を話したらいいのだろうか？と自問自答して、まず校歌を歌うことにしました。同窓会世話人会、同窓会説明式はホームページに掲載していますので、ご覧頂ければ幸いです。

同窓会開催日時

平成二十七年六月三十日 午後二時

場所

サイプレスガーデンホテル(金山)

### 第六回生 同期会

万前 秀男

熱田六回生(昭和36年卒)は平成二十五年十一月、名古屋熱田区の賀城園でやや遅れた卒業五十周年記念同期会を開いた。今回で四回目を迎える会は、お世話になった先生方がご高齢になられ、ご出席いただけなかったことは残念であった。我々も前期高齢者の仲間入りした今、当然の事かもしれないと想いに耽けり先生方のご長寿をお祈りしました。企画として、卒業以来一度も校門をくぐつたことが無い方が多くみえ、熱田高校の見学会を計画しました。改修され床面ビカピカの新体育館と武道場・旧体育館後のハンドホール専用コート・手入れの行き届いた軟式・硬式テニスコート・大きく育つた楠木と銀杏・校門を飾る櫻の大木・よくしごかれ思い出深い校庭・三角形プールなどを見て回り、施設が立派になったことに頼もしさを感





じました。また、部活動で登校している生徒たちの気持ちの良い挨拶と礼儀正しさに心を打たれるものがありました。

会は、物故者を偲んで黙祷。幹事の乾杯で始まり、何回か逢っていると思うのだが、なかなか名前が浮かばず、胸に付けた名札を見て「○○さん、○○君」と思い出し、声をかける姿がチラホラ……。いつもの通り、仲間との懐かしい思い出話に夢中になり、あつという間に時間が過ぎていきました。終りに、皆で校歌を歌い、次回の再会を約し、盛会の内に会を閉じることができました。

次回 平成二十六年十一月十六日

十二時〜 賀城園

野村義明君の真剣による演武披露を予定しております、元気で再会しましょう。

## 第十四回生 同期会

福島 義広

十四回生は、還暦を迎えた平成二十二年に初めて、全体の同期会を開催しました。それまでは十クラスの内、一部を除き、大半のクラスはクラス会的なものも実施していないという実態がありました。そうした中で平成二十二年に還暦という大きな節目を迎えると言うことで記念行事的な意味も含め、十四回生全体での

同期会を開催したらどうかという有志が集まり、準備委員会のようなものを構成しました。そして当時、連絡可能な三百人近くの皆さんに声をかけさせて頂き、平成二十二年十月に初めての同期会を開催し、百三十四人の皆さんが一同に会しました。卒業以来、四十二年ぶりに旧友に会ったという人も多数おり、地元在住の人達だけでなく、北は北海道・西は四国など、遠くから駆けつけて頂いた方も数人ありました。また、在校時に何かとお世話になった先生方にもご出席賜り、懇親、歓談の輪に入って頂きました。いずれにしてもこれまでの年月、時の移ろいを語り合うにはあまりにも限られた短い時間でしたが、皆さん、瞬時にタイムスリップし、思う存分に旧交を温めるとともに大いにリフレッシュを図ることのできた同期会であったと思います。青春時代に戻ったような皆さんの「笑顔と元気」が印象的でした。

その後、十四回生においては皆さんの要望を踏まえつつ、毎年一回の同期会を開催するという方針で進めてきています。還暦直後の人達は概ね、元気なシニアと言われる世代の中では若手であり、全般傾向としてはビジネス関係等の縦コミュニケーションの世界から、地域社会や同

好・同趣味、同窓・同期関係等の横コミュニケーションの世界を求め、拡げていこう？と考へ、行動する世代です。こうした背景、事情と十四回生同期会は「元気に集まれる時には継続、定期的に開催しよう」という基本スタンスが有るからです。因みにその後の同期会実績ですが、平成二十三年五十八人、平成二十四年九十二人、平成二十五年五十九人となっています。



同期会の開催可否に関しては、特に明確な判断基準は有りませんが、例えば人数規模的には五十人（一クラス平均五人）を大きく下回るような状況になれば、これはもう同期会ではなく、個々或いは合同のクラス会のような形になるのかもしれない。なお、十四回生同期会は、平成二十六年も十一月に開催する計画で検討、準備をしています。

ここで、同期会に関する平成二十五年のアンケート調査結果を紹介します。会費は上限が一万円、平均水準は七〜八千円ですが、できれば五〜六千円を希望。開催時期は秋（十〜十一月）の土曜日、時間は夕方五時以降を希望する声が大抵。内容的にはホテル等での会食や懇親会を基本型としつつも、場の盛り上がり、出席者が多く参加できるような企画イベントの工夫やお楽しみとして商品・景品やお土産などを希望する声は根強い。また、同期会とは別の日に分科会的な個別企画をした場合参加希望のあったものは、日帰り旅行四十％（予算一万円）、一泊旅行二十％（予算一万五千円）、スポーツ観戦（野球・サッカー）十五％、焼き肉パーティー等の会食十％などです。以上、平成の同期会事情と関連情報ですが、ご参考まで。

さて、われらが母校の熱田高校も

平成二十四年に、還暦を迎えたところですが、原点復帰から、リストアートしてもっともつと元気な母校になつて頂きたいと思ひますし、その為には数多くの卒業生も元気を維持、發揮して同窓会として幅広く着実にサポートできるようにしていきたいですね。人間とは文字通り、人々との間で相互のコミュニケーションを図り、理解し合う中で生きています。元気に生きるにはやはり、こうした人と人との触れ合い、コミュニケーションが源です。特に同時期に青春時代を過ごした同窓、同期の人達との交流は理屈抜き、理由なしにすばらしい。各年代の皆さんでそれぞれに相応しい場作り、方法等を工夫した触れ合い、交流ができれば素敵ですね。

教職員異動

平成26年度 退職者・転出者及び新転任者一覧

○退職者(敬称略)

(全日制)

- 石黒 茂 校長
- 鈴木 茂明 教諭
- 伊藤麻衣子 教諭

○転出職員(敬称略・転出先)

(全日制)

- 木村 誠 教頭 (日進高)
- 加藤 健司 教諭 (天白高)
- 志村 俊人 教諭 (旭丘高)

○転入職員(敬称略・転入元)

(全日制)

- 菅沼かおり 教諭 (鳴海高)
- 小村 康江 主査 (名古屋首)
- 小林 整次 校長 (加茂丘高)
- 佐藤 章 教頭 (南陽高)
- 竹内 麻由 教諭 (岩倉総合高)
- 神谷 久 教諭 (刈谷高)
- 佐々木芳洋 教諭 (南陽高)
- 水谷 淳 教諭 (名古屋西高)
- 北浦 弘之 教頭 (春日井工業高)
- 平山 実佳 教諭 (一宮西高)
- 成田 純子 教諭 (瑞陵高)
- 宇佐美祐貴 教諭 (新規採用)
- 牛山 朝隆 教諭 (新規採用)
- 酒井 一樹 教諭 (新規採用)
- 榊原 弘康 主査 (春日井商業高)
- 小野 珠季 主事 (総務部税務課)
- (定時制)
- 青野 晋也 教諭 (新規採用)

事務局だより

会員名簿2012年版

創立六十周年版会員名簿(平成24年11月発刊)は完売です。増刷の予定はありません。ご購入済の方は「会員名簿」の管理につきましては個人情報流出しないようにご留意いただきたくお願い申し上げます。

業者からの名簿の問い合わせ(進路先・住所・電話等)には同窓会は一切お答えしません。母校職員を装い、電話で進学先、住所、電話番号などを聞きだす者がいるようですが、母

校及び同窓会ではそのようなことは一切しておりません。会員名簿にしましては、同窓会は(株)廣済堂に依頼しております。それ以外は、母校及び同窓会とは一切関係ありませんのでご注意ください。もし、ご不審な点がありましたら、(株)廣済堂または事務局までご連絡ください。

なお、名簿は同窓会会員のみにしか販売していません。



24年11月 発刊済

計報

赤松 英男	校長	平	25	・	11
岡嶋 憲治	教諭	平	26	・	10
羽木 哲三	5 回生	平	25	・	10
(旧姓杉野)					28 27 25
澤田 雅男	15 回生	平	25	・	2
山田 次郎	2 回生	平	26	・	2
					26 10

ご逝去に接し、謹んでご冥福をお祈り申し上げますと共にお知らせいたします。(係より)

クラス幹事の皆様へ

計報は悲しい出来事ですが、事務局まで葉書でご連絡ください。

題字 初代書道教諭 名郷紫山